

議会のあり方調査特別委員会・広聴検討分科会記録	
開 会 年 月 日	令和 2 年 7 月 17 日
開 会 時 刻	午前 9 時 58 分
閉 会 時 刻	午前 10 時 24 分
出 席 委 員 名	◎吉岡 勝裕 ○楠木 宏彦 野崎 隆太 野口 佳子
	西山 則夫 山本 正一
欠 席 委 員 名	井村 貴志
署 名 者	なし
担 当 書 記	倉井 伸也
審 査 案 件	1 議会報告会・意見交換会について
	2 皇學館大学 C L L 活動「みんなの声を聞くには？プロジェクト」メンバーとの連携について
	3 今後の活動について
	4 その他について
説 明 者	議会事務局調査係長倉井、調査係野村主事

会議の概要

開会前に吉岡分科会長より、6月30日に開催予定であった広聴検討分科会を中止したことについてお詫びがあった。その後、開会を宣告し、直ちに会議に入り、「議会報告会・意見交換会について」、「皇學館大学C L L活動『みんなの声を聞くには？プロジェクト』メンバーとの連携について」、「今後の活動について」及び「その他について」を議題とし、いずれの議題も新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、実施の可否や活動等の決定については今後の継続協議とすることとし、分科会を閉会した。

なお、詳細は次のとおり。

協議の内容

1 議会報告会・意見交換会について

始めに事務局より、これまでの開催状況について、資料に基づき説明。委員からは「新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、状況を見ながら実施を検討すべきである。」、「市の行事等も今年はたくさん中止されており、実施しなければならないということはない。」などの意見があり、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、今後改めて実施の可否を協議することとなった。

2 皇學館大学C L L活動「みんなの声を聞くには？プロジェクト」メンバーとの連携について

会長より大学側の現在の状況について、大人数の授業は現在もオンラインで行われていること、メンバーは中心となる3年生が1人と就職を控えた4年生が3人の合計4人しかいないこと、以前メンバーより提案があった議会ツアーについては前向きに捉えていたが、大人数が集まる意見交換会などのイベントについては少し抵抗感があるように感じられたこと、高校生議会の議長役については、メンバーからも高校生が行うほうが望ましいとの話があったことが報告され、委員からは「議会側が空回りしてもいけない。大学側にも新規のメンバーを増やしてもらうなどの働きかけしてはどうか。」などの意見があり、少ないメンバーに配慮しながら、今後も継続して協議することとなった。

3 今後の活動について

委員からは、「新型コロナウイルス対策会議において各種団体との意見聴取が実施され、議会だよりでも市議会アンケートが実施予定であり、議会としての活動は行われている。今年は特別な年であり、広聴検討分科会の活動が停滞してもやむを得ない。不要不急の活動はやる必要はないのではないか。」、「何も活動ができていない状況で苦しい部分はあるが、必要なときにはいつでも動けるよう委員が心積もりをしておくことが必要である」などの意見があり、今後の活動については、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、継続して協議することとなった。

4 その他について

広聴検討分科会の行政視察の実施については、現在、東京都など一部の都道府県において、1日に200人を超える新規の感染者が発生している状況であることを鑑み、しばらく様子を見ながら今後改めて実施の可否を協議することとし、分科会を閉会した。

上記署名する

令和2年7月17日

分科会長